



川崎小だより

明けましておめでとうございます

今年のお正月はとても暖かく、とても過ごしやすい三が日だったのではないのでしょうか。

いつもより少し長かった冬休みもあっという間に終わり、後期の後半がスタートしました。9日は寒風吹きすさぶ中、子どもたちは元気に登校してきました。冬休みは、大きな怪我や事故もなく楽しく過ごしたようで安心しました。

「一年の計は元旦にあり」と言われますが、この言葉の前後には、「一日の計は朝にあり」「一生の計は少壮の時にあり」という言葉があるそうです。1日、1週間、1カ月、1年という時の流れの節目節目に、今日は、今週は、今月は、今年は何なことを頑張ろうか、と目標とすることを定めることは大切なことです。

特に、この時期は、本年度のまとめの時期でもあり、1年間の努力が見える形として表れます。ともすれば人間は、易きに流れる傾向にあります。「終わりよければすべてよし」と言われるように、この時期にこそ充実した生活を送らせ、一人一人の「できた・分かった・頑張った」ことが、たくさん増えるようラストスパートをかけてほしいと思います。

とりわけ卒業を控えている6年生にとっては短く、忙しい日々になると思います。限られた時間の中で、童男山ふすべ式典、なわとび記録会、卒業記念品や文集づくり、六年生を送る会等々、行事が盛りだくさんです。最上級生としての役割を果たし、有終の美が飾られるよう、また、1～5年生は、4月から一つ上の学年にあがる準備をしっかりとしてほしいと思います。

筑後地区小学校音楽祭への出場

昨年の12月1日、久留米石橋文化ホールで第55回筑後地区小学校音楽祭（合唱の部）が開催され、3年～6年生が出場しました。10月から毎日、朝の活動の時間に、下川先生が中心となって指導を行いました。講評の先生方からは、「高音の響きがとても美しかった」「3年～6年生とは思えない美しいハーモニーだった」「60名の心がひとつにまとまり楽曲のよさをしっかり表現できていた」と多くの高評価をいただきました。

大勢の前で表現する体験が、今後あらゆる所での自己表現に生かされることを期待しています。



童男山ふすべ

今月20日（土）は、童男山古墳において童男山ふすべの式典が行われます。

子どもたちは、総合的な学習の時間及び学校行事の一環として、掃除をしたり式典に参加したりします。

この行事は、八女市が誇る文化遺産である童男山古墳を愛護し、徐福伝説を偲び、先人の遺産を末永く守り伝えるために、例年、地元山内の「童男山・犬尾城址保存会」と川崎小学校が一体となって行うものです。

子どもたちには、ふるさと八女・川崎への誇りと愛着を持った人に育ってほしいと願うばかりです。

1月の行事予定

- 15日（月）5年生出前授業
- 19日（金）寺子屋・補充学習
- 20日（土）童男山ふすべ
掃除（1～4年）
式典参加（5・6年）
- 22日（月）振替休日
- 24日（水）代表委員会
- 26日（金）寺子屋・補充学習

<2月の主な行事予定>

- 1日（木）全校朝会
- 2日（金）学習発表会
- 7日（水）委員会活動
- 9日（金）寺子屋・補充学習
- 11日（日）建国記念の日
- 12日（月）振替休日
- 15日（木）なわとび記録会
- 16日（金）寺子屋・補充学習
- 21日（水）漢字・算数オリンピック
- 23日（金）授業参観・学級懇談会
- 28日（水）委員会活動

頑張った持久走記録会

昨年11月28日、校内持久走記録会を実施しました。走ることが得意な子、苦手な子など様々ですが、どの子も最後まであきらめずに走りとおすことができました。保護者の方の声援が、子どもたちの励みになったことと思います。子どもたちには、記録証を配付しています。

